

## 教科目名 社会システム (Infrastructure System)

学科名・学年 : 機械工学科 5 年 (教育プログラム 第 2 学年 ○科目)

単位数など : 選択 1 単位 (後期 1 コマ, 授業時間 23.25 時間)

担当教員 : 亀野 辰三

授業の概要			
<p>本科目は, JABEE が要請する「社会技術」の知識を獲得するために開講する科目である。21 世紀に入り, 日本の経済, 産業構造は大きな変革を求められている。また, 少子高齢化と雇用形態の変化は我々の社会システムを大きく変えつつある。これらの大きな流れは, わが国の政治・経済や都市・地域のさまざまな側面に大きな影響を与えている。そこで, 本講義では, ①このような状況にある都市・地域を正しく認識し, ②日本の社会システムが国際経済のグローバル化の中で位置づけられることを理解し, ③これらの経済のグローバル化の理論的根拠が経済学に求められ, 経済学を学ぶ重要性を理解することを目的として学習するものである。</p>			
達成目標と評価方法		大分高専目標 (E2), JABEE 目標 (d1⑤) (d2a)	
<p>(1) わが国の経済社会で起きている事象・問題を正しく現状認識ができる。(定期試験)  (2) 地域経済学の初歩が理解できる。(定期試験)</p>			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	1. 社会システム概説	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会システムの概要について説明する。</li> <li>○日本の都市と世界の国・都市について経済地理学的視点から理解する。</li> <li>○日本の経済力や経済水準を国際的な位置づけの中で理解する。</li> <li>○日本の社会経済の現状を人口減社会、財政危機、環境・エネルギーの側面から理解する。</li> </ul>	【理解の度合い】
2	2. 国際社会と日本のポジション		
3	2.1 面積・人口		
4	2.2 経済システム		
5	2.3 教育力		
6	3. 社会経済システムの現状		
7	3.1 人口減社会		
8	3.2 財政危機	【試験の点数】 点	
9	3.3 環境・エネルギー		
9	後期中間試験		【理解の度合い】
9, 10	後期中間試験の解答と解説		
11	4. グローバル経済の現状		
12	5. 社会システムと時代の潮流		
13, 14	5.1 小さな政府と大きな政府		
	5.2 経済学及び経済学者の貢献		
	6. 市場の失敗と PFI	【試験の点数】 点	
15	後期期末試験		
	後期期末試験の解答と解説		
履修上の注意	①社会科学に興味のある学生の受講を望む。②社会システム専用の大学ノートを用意すること (ルーズリーフは不可)。		【総合達成度】
教科書	なし		
参考図書	(1) 「日経キーワード重要 500」, 日経 HR (2) 石井・湯沢・亀野他共著, 「地域・都市計画」, 鹿島出版会		
自学上の注意	毎回, 多くの演習問題を課すので, 学生は自ら教科書や参考書, インターネット等を用いて調べて提出すること。		
関連科目	情報ネットワーク (専攻科), 生産システム特論 (専攻科), 環境保全工学 (専攻科), センサ工学 (専攻科), プロジェクト実験 I (専攻科)		
総合評価	達成目標の (1), (2) について 2 回の定期試験で評価する。 総合評価=2 回の定期試験の平均 総合評価が 60 点以上を合格とする。再試験は原則として実施しない。		